

コンテンツ・マネージメント・システム (CMS)

Xoops による図書館ホームページの構築

今野 穂

札幌医科大学附属図書館

札幌医科大学附属図書館（以下、「当館」と言う）は 1997 年 5 月より公式ホームページによる情報提供を開始し、1999 年 6 月の MEDLINE からの文献複写申し込み開始以降、提供サービスの多くをホームページ上で展開してきた。当館ホームページは運用を行う当館においても、また利用する側においても重要、かつ不可欠のツールとなっていることは年間約 14 万件のアクセスを記録していることから明らかであるが、他方ではその維持運用において次の課題を抱えていた。

UNIX サーバーによる運用のため HTML の作成や編集も含め、UNIX コマンドの知識を必要とし、限られた職員による維持に頼らざるをえない。

更新頻度については最低月 1 回行われており、問題は無いものの、上記の理由よりデザインの統一も含めたサイト全体の改修が困難な状況にある。

現状では IP 認証以外のアクセス制御を持たないことから一般公開向けコンテンツと学内者向けコンテンツが混在しており、特に電子ジャーナル等、有償コンテンツの利用において学外利用者の誤解を招いている。

当館はこれらの課題解決に対し、昨年 8 月よりポータルサイト構築ツールとして広く用いられている「Xoops (「エクソウプス」、または「ズープス」)」に着目し、検討を進めてきた。Xoops は「eXtensible Object Oriented Portal System (拡張可能なオブジェクト指向ポータルシステム)」の略で、GPL (GNU General Public License)」によって配布され、誰もが利用することが可能なコンテンツ・マネージメント・システムである。「外国人記者クラブ」や自由民主党幹事長安倍晋三氏のサイトで採用されており、話題性も十分なシステムであるが、当館では Xoops の次の特徴に着目し、採用を決定した。

- ・記事の入力をブラウザから行えるため記事作成に係わるワークシェアリング化が可能であるとともに、公開記事の体裁の統一が可能である。
- ・公開する記事の始期及び終期の指定、カテゴリ別による記事の管理などコンテンツの保守性に優れているとともに、Weblog (ウェブログ) によるコンテンツ利用が可能。
- ・各コンテンツに対し、ユーザー区分毎にアクセス権限を設定できるなどポータルシステムに不可欠である柔軟な認証機能を有している。
- ・サーバーサイド・スクリプト言語である「PHP (PHP:Hypertext Preprocessor)」をベースとしたシステムであり、インターネット上に無償で公開されている様々のモジュールを利用することが可能。
- ・ローカライズ (日本語化) において安定性を有していること。

なお、評価については改修作業未完により言及できないが、大会当日のセッションを行う中で評価を得ることができればと考えている。